

第7回 母と子のメンタルヘルスフォーラム in 埼玉

学会テーマ 新時代のメンタルヘルステック 母と子の愛着形成のために
～乳幼児虐待と産後うつによる妊産婦死亡予防のための様々な取り組みの紹介～

大会会長 平田善康(埼玉県産婦人科医会会長)

会 期 2022 年 6 月 5 日(日)

会 場 埼玉会館大ホール 〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目1-4

プログラム

◆基調講演 「子どもたちの健やかな脳発達のために～小児脳 MR 画像データベースからみる脳発達と生活習慣の影響～」

座長 亀井良政(埼玉医科大学教授・埼玉県産婦人科医会副会長)

演者 瀧 靖之(東北大学加齢医学研究所教授)

◆特別講演 「母子の健全な愛着形成過程を確保するためには」

座長 平田善康(埼玉県産婦人科医会会長)

演者 木下勝之(日本産婦人科医会会長)

◆シンポジウム① 「乳幼児虐待を未然に防ぐ：周産期からどう介入すべきか」

座長 鈴木幸子(埼玉県立大学副学長)

桑田知之(自治医科大学附属さいたま医療センター教授)

1. 妊娠期からの虐待予防強化事業：埼玉県の取り組み 畔上淳子(埼玉県健康長寿課)
2. 周産期からの地域連携の取り組み 石黒共人(越谷市立病院)
3. 子ども虐待：親の伴走者となる支援 大塚陽子(NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会理事)
4. 胎児虐待とその対応 立花良之(国立成育医療センターこころの診療部)

◆シンポジウム② 「産後うつに対するメンタルヘルステックの現状と課題」

座長 相良洋子(日本産婦人科医会常務理事)

高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター教授)

1. iCBT による妊娠うつ病および産後うつ病の発症予防 西 大輔(東京大学精神科)
2. AI 技術を用いた脳の健康状態へのアプローチ 舘脇康子(東北大学加齢医学研究所)
3. 母子手帳アプリ「母子モ」による行政との連携 宮本大樹(母子モ株式会社代表)
4. 埼玉県オンライン相談事業による妊産婦の心のケア 西岡暢子(越谷市立病院)

◆ランチョンセミナー 「ミニっから学ぶ 楽しい子育て」

演者 美馬アンナ(女優・タレント), 高橋幸子(埼玉医科大学), 落合由佳(アナウンサー)

※ 講演タイトル・内容は一部変更の可能性があります。詳しくは大会ホームページをご覧ください。
大会ホームページ：<https://7mental.medical-meeting.jp/>

問い合わせ先(運営事務局)：有限会社トリプルアイ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-49-1

TEL 03-5465-5091/FAX 03-5465-5092

7mental@medical-meeting.jp